

# 平成 25 年度事業計画

## 総 括

平成 25 年度の重点項目を以下の通りとする。

1. 50 周年に向けた中長期目標達成のための施策の着手
  - ①目標「育成カリキュラム(上達の為のプログラム)が出来ている」
    - ・HP 委員会とダンススポーツ医科学研究部による蓄積的トレーニング・メソッドの研究
    - ・斬新な WDSF ダンススポーツ・テキストの翻訳・導入
  - ②目標「健康維持・増進の生涯スポーツとして広く親しまれている」
    - ・HP 委員会とダンススポーツ医科学研究部によるアンチエイジング効果の研究と普及
    - ・健康増進プログラム(仮称 健康ダンスうんどうを含む)の開発と企業への導入テスト
  - ③目標「巷のカフェなど店舗にフロアがあり若者の文化として定着している」
    - ・未経験者向けの楽しいダンスの国民向け普及施策の検討
    - ・類似のダンスとのコラボレーションによる若年層の導入の検討
2. 公益社団法人としての運営・組織強化
  - ①組織改革
    - ・ダンススポーツの認知度向上のため、PR 推進本部を新設、内外の広報活動を統括
    - ・ダンススポーツ医科学研究プロジェクトをダンススポーツ医科学研究部としてライン化
    - ・会員拡大委員会と普及部の統合
    - ・業務執行理事若返りの準備(2年間で達成)
  - ②事務局体制の見直し
    - ・業務執行理事、役職者を中心としたボランティアに頼る体制からの脱皮準備
    - ・IT スキルのある若手の採用と、合理化による体制強化
3. 選手強化策
  - ①ジュニアの発掘と育成
  - ②アジアインドア・マーシャルアーツゲームズ(7 月)でのメダル確保努力
  - ③東アジア競技大会(10 月)でのメダルを確保努力
4. 広報戦略
  - ①PR 推進部・情報システム本部・ホームページプロジェクトによるホームページ再構築
  - ②毎日新聞社、TBS 等とのコラボレーションによる露出度向上
  - ③広報誌 DDD の範囲拡大
5. その他重点施策
  - ①メジャースポンサーの獲得
  - ②著作権上、自由使用のできる音楽 CD の追加製作
  - ③WDSF 方針による PD 部門の実働に向けた施策
  - ④風俗営業法の規制に関する対策
  - ⑤日本体育協会正加盟に向けた努力(早期の国体公開競技化のための布石)
  - ⑥審判システム、総合情報システムのリニューアル
  - ⑦競技会の品質向上に向けた施策、会員拡大、日本体育協会指導者拡充、技術認定制度の普及、その他、従来より継続業務の適切な実施など

以上

# 各本部・委員会

## 普及本部

普及本部(フィガー・プロジェクトを含む)では、下記に示す諸施策を推進する。

### 1. 指導部

新規指導員養成講習会とそれに伴う選考試験、並びに公認指導員研修会を全国レベルで実施し、公認指導員の充実と指導技術向上を図る。

公認指導員資格更新研修では従来のダンス技術を主体としたものにとどまらず、スポーツ指導者に必要とされる知識および指導員の心得、ほか技能研修を広く取り入れ、会員拡大を踏まえた普及についての指導内容の充実を図る。

資格取得後3年以上経過したC級指導員に対してはB級指導員への昇級選考試験を引き続き実施する。また、B級指導員からA級指導員への昇級試験を実施する。

さらに、公益財団法人日本体育協会(日体協)の競技別指導者制度に連携した日体協公認ダンススポーツ「コーチ」、「指導員」の養成等を行うとともに、「教師」区分の実施について引き続き検討する。

- (1) 新規公認指導員選考試験とそのための講習
- (2) 公認指導員研修
- (3) C級公認指導員のB級公認指導員への昇級試験
- (4) B級公認指導員のA級公認指導員への昇級試験
- (5) 日体協スポーツ指導者育成事業と連携した日体協公認ダンススポーツ指導者養成
- (6) 全国ブロック指導部長会議開催

### 2. 技術認定部

技術認定制度は、平成17年度から平成26年度までの全国展開構想10年間の9年目を迎えることから、非会員への受験機会の拡大や選手経験者への受験機会の提供等社会のニーズにマッチする仕組みとなるように更なる改善に努めるものとする。

また、グレードコースからハイグレードコースまで一貫したシステムであることから、非会員を含む受験者満足の向上に連動する有機的な学習システムとして以下のように全国展開を図る。

- (1) 公益法人としてのスタンスによる活動の促進
- (2) グレードコースの着実な展開による普及促進と受験者層の底辺拡大
- (3) ハイグレードコースの発展に向けた多岐にわたる誘導施策の展開
- (4) 技術認定会の先進事例の情報共有と水平展開
- (5) 制度の充実と拡張

### 3. フィガー・プロジェクト

フィガー・プロジェクト活動(指導部、技術認定部、競技部合同)を昨年引き続き実施する。

- (1) JDSFオフィシャル・フィガーの内容精査
- (2) JDSF 標準アマルガメーション I (技術認定グレードコースを含む。)のレビュー
- (3) JDSF 標準アマルガメーション II (技術認定ハイグレードコース)のレビュー

#### 4. ダンススポーツ医科学研究部

- (1) ダンススポーツに関する医・科学的研究を実施する。
  - ・主に、モーションキャプチャーおよび DMA (DanceSport Motion Analysis) システムを活用し、ダンススポーツの科学的動作解析法を検討する。
  - ・医・科学的研究手法の情報収集を行う。
- (2) WDSF から出版される新たなダンススポーツ教本の普及を図るため、テキスト翻訳プロジェクトによる日本語版教本および DVD を作成する。
  - ・スタンダード 5 種目、ラテン5種目、計 10 種目について WDSF から出版される新教本について順次日本語版教本を作成する。
  - ・新教本の内容に沿った DVD を作成する。
- (3) ダンススポーツに関する教本の充実を図る。
  - ・ダンススポーツ教程の主要部分を引用するとともに、ダンススポーツの指導・普及・活用に必要な事項を取り入れた新たな教本作成の検討を開始する。

#### 国際本部

国際本部は WDSF, ADSF によるオリンピック関連事業の一翼を担うべく、各国競技団体との協調の下、国際的に、次のダンススポーツ活動を推進する。

- (1) WDSF、ADSF 事業への協力。
- (2) WDSF 選手権、WDSF 各種競技会等への選手や役員の派遣手続。
- (3) 国内事業における海外関係への担当、協力、助言。
- (4) Olympic 関連イベントの準備、活動に協力。

具体的には次のとおりである。

- (1) WDSF、ADSF 総会等に参加し、また、e-mail 等による各種情報伝達により国際事業への協力、企画を行うとともに、国内への案内を行う。
- (2) 海外競技会選手派遣部(選手派遣部)を中心に WDSF 競技会に関する案内と派遣手続、選手への助言を行う。選手派遣については世界スタンダード選手権、世界ラテン選手権、世界 10 ダンス選手権、世界シニアスタンダード選手権、世界シニアラテン選手権、世界ユーススタンダード選手権、世界ユースラテン選手権、世界ユース 10 ダンス選手権、世界ジュニアスタンダード選手権、世界ジュニアラテン選手権、世界ジュニア 10 ダンス選手権、アジアシングルダンス選手権、および WDSF 関連競技会、特に World Games, World DanceSport Games 等 への派遣手続を行う。
- (3) WDSF World Open 他 (東京オープン)、WDSF Open 競技会等での海外関係事業、そのほか各加盟団体からの依頼による講師や選手の海外からの招聘活動を行う。

## 競技本部

競技本部は5つの専門部に分かれて活動し、その各部の連携をはかり、以下の事業を行う。

- (1) DSCJ全日本統一級競技会の推進を図る。
- (2) JDSF主催競技会の改善に関して検討する。
- (3) 以下のことについて競技会体系及び規則、規程の検討をする。
  - a 新審判基準委員会に協力
  - b DSCJ競技会の実情に基づく改善策
- (4) JDSFオフィシャルフィガーに関してフィガープロジェクトチームと協力して整備する。
- (5) 審判員、競技長、採点管理長、システム運用資格者など競技資格者の質の向上を図り、資格者の管理を行う。
- (6) 国際的レベルに達する選手及びジュニア選手の育成に努める。
- (7) ダンススポーツの国体種目実現を目指すために、都道府県対抗全国ダンススポーツ大会、ブロック選手権大会等の充実を図る。
- (8) JDSF主催競技会、DSCJメイン競技会への支援をする。

### 1. 競技部

- (1) DSCJ 競技規則、昇降級規程改訂(級体系の見直しを含む)
- (2) JDSF競技関連規程の一部規程の改訂
- (3) DSCJおよび各ブロックと協調して、JDSF公認競技会の開催推進、調整および支援、公認認可手続き
- (4) 競技資格部の競技長講習会およびチェッカー講習会の開催に協力
- (5) 競技本部、競技支援システム部と合同で会議(12回)を開催し、各部と連携して競技関連の問題点を処理
- (6) 派遣選考会およびグランプリの調整、支援、ダンススポーツランキングの集計、広報
- (7) 会員拡大を目的とした、生涯スポーツ系の競技会(普及競技)開催促進

### 2. 審判部

- (1) JDSF公認承認競技会への審判員派遣
- (2) 新規JDSF公認審判員登録手続きの実施
- (3) 審判員研修の実施
- (4) WDSF公認審判員登録手続きと派遣手続きの実施
- (5) 審判部会の月例実施
- (6) その他
  - \* 審判員活動に関わる記録の整備・保管を行う
  - \* 新審判基準策定、新審判方式実施などに関して必要な協力と提言を行う

### 3. 選手強化部

本年は、「東アジア大会」、「アジアインドアマチュアアーツゲームズ」とオリンピック関連大会開催の年であり、昨年を引き続き、短期的目標としてはこの大会で多くのメダル獲得を目指し、中長期的にはジュニア育成に力を入れる。

また、担当コーチングスタッフ制を充実させ、選手、メインコーチとコミュニケーションを図り、トレーニング計画、環境整備などのサポートをする体制と共に、スタンダード専属コーチをベネディット・クラウディア組、ラテン専属コーチをユーリ・ヤゴタ組とし、国際的に活躍できる選手の競技力向上、育成強化を図る。

具体的には

- (1) 強化選手、準強化選手を認定し、強化を図る。
- (2) 各選手が目標を持ち、トレーニング計画をたて、コーチングスタッフと共に強化する体制を整える。
- (3) 「東アジア大会」「アジアインドアマーシャルアーツゲームズ」の候補選手の強化
- (4) スタンダードはベネディット・クラウディア組を専属コーチとして招聘し強化を図る。
- (5) ラテンはユーリ・ヤゴタ組を専属コーチとして強化を図る。
- (6) 強化合宿をジュニアは年2回、アダルトは年1回開催する。
- (7) 特別選手強化練習会、定期強化練習会を行う。
- (8) 科学トレーニングの推進

#### **4. ジュニア育成部**

ジュニア層の底辺拡大と選手強化部との連携を図り、競技力向上の事業を推進するため、以下の事業を行う。

- (1) ジュニア指導員の確保、資質の向上を図るための事業
  - a 新規ジュニア指導員養成講座の開催(東京、東北)
  - b ジュニア指導員の研修会(8月、1月)
  - c ジュニア指導員検定
  - d ジュニア指導員講習会・研修会のための講師養成
  - e ジュニア準指導員制度の発足
- (2) ジュニア競技会開催と開催推進事業
  - a 第8回オールジャパンジュニアダンススポーツカップ 2013in千葉
  - b 三笠宮杯での第10回全国子どもダンススポーツ大会
  - c 各都道府県でのジュニア競技会
- (3) ジュニアアスリートクラブの活動、運営
  - a 会員登録、会員の成績管理など
  - b 研修会、交流会、ジュニア合宿体験など
  - c 競技会参加旅費の支援
  - d 表彰
  - e 会員手帳、会員のしおり 発行
- (4) 認定ジュニアクラブ(サークル)への情報発信
- (5) 学校教育検討委員会との連携活動

#### **5. 競技資格部**

講習会及び研修会を開催し、競技資格者の資質の向上及び資格更新制度の適正な運用を図る。

資格更新制度適用の競技資格の講習会又は研修会

区 分	競技長	採点管理長	システム運用資格者
北海道暫定ブロック	○	○	○
東北ブロック	○	○	○
関東甲信越ブロック	○	○	○
中部ブロック	○	○	○
西部ブロック	○	○	○
九州ブロック	○	○	○
計	6 回	6 回	6 回

- (1) 各ブロックは、資格更新のために、各競技資格者にかかるテキスト研修会を行う。  
ただし、3つの競技資格のうちの1つについて、希望すれば本部講師による資格取得のための講習会を開催することができる。
- (2) 競技資格部の承認を得て、都道府県連盟が自らの予算で講習会又は研修会を開催することを奨励する。

### 情報システム本部

情報システム本部では、JDSF情報システム(データベース)をもとに、正確で迅速な情報提供ならびに加盟団体との各種申請・登録手続きのWeb処理による事務処理の迅速化、ペーパーレス化を推進する。

特に競技会関連システムでは、スマートフォンの普及によるWeb環境を活かし迅速かつ正確な競技結果ならびに昇級状況などの情報開示を進める。

また、無線LAN端末による競技会支援システムの汎用化を推進し、関連団体への普及を図り、競技会の運営効率と入力 of 正確性を図る。

<平成25年度整備目標>

- (1) 公式ホームページの充実と機能強化(項目・検索追加)
  - ① 競技会開催情報検索システム
  - ② 成績・昇級情報提供
  - ③ 公認サークル照会・検索システム
- (2) インターネットによる物販システム開発
- (3) 指導員、認定会申請システム開発・運用
- (4) 新JDSF総合情報システム設計および開発

### PR推進本部

ダンススポーツの普及活動促進の為一般国民に向けてダンススポーツの知名度を高める活動を行う。

#### 1. 広報部

- (1) JDSF 会報誌 DDD の発行、その他広報活動

## (2) ホームページ WG の活動

- ・JDSF ホームページ関係の開発維持管理
- ・JDSF メール処理の負荷対策
- ・IPv6対策

## (3) メイン競技会のマスコミ認知活動、マスコミ露出状況の管理

## 2. PR 部

### (1) マスコミ等への働きかけ

- ・テレビ・新聞等マスコミへの働きかけ
- ・マスコミを通じ会員および一般国民へのダンススポーツへの普及促進を図る

### (2) ダンススポーツ啓発活動

- 1) PR活動ポスター作製
- 2) 会員拡大キャンペーンポスター作製  
(B2サイズ カラー印刷5,000枚)年4回
- 3) カレンダーの作製

## マーケティング本部

### 1. マーケティング部

- (1) スポンサーの維持・獲得のための活動
- (2) 関係団体との協業イベントの検討・実施
- (3) マスコミへの露出活動

### 2. 事業部

- (1) 物販による収益事業の拡大
  - ・協力企業グッズの販売
  - ・オリジナルグッズの開発と販売
- (2) CD 製作プロジェクト
  - ・自由使用のできる CD の製作:  
オランダ Dancelife 社との提携によるシリーズ”DanceSport”Vol.12 の H25 年度内販売活動、及び H25 年リリースの Vol.13、14 の制作、販売を行う。
- (3) 公益社団法人名刺の普及

## 企画委員会

企画委員会は、JDSF の中長期的な方向を検討・企画し、通常の業務組織では対応しにくい課題を担当するが、平成 25 年度の重点実施事項は、以下の通りである。

### 1. 将来のためのジュニア競技力の向上

- (1) H24 年度にスタートしたジュニア強化制度の第 2 段階の実行支援

(2) 外部会議である「ジュニア・ダンススポーツ協議会」の運営

## 2. PD(プロフェッショナル・デビジョン)の企画検討

(1) WDSFの指導に沿って、JDSF内PDの組織化の検討

(2) WDSF・PD競技会の開催検討

## 3. JDSFの会員組織のあり方についての検討

JDSFの会員組織は、認定サークルを末端組織と位置づけているが、会員及びサークルの多様化により、現状の会員制度だけでは十分な対応ができない問題が考えられる。

また、都道府県において入会希望の初心者を受け入れる何らかの組織が必要であるため、これらの検討を行う。

(1) 入会希望初心者の受け皿組織の検討

(2) 個人会員制度の検討:個人登録選手、PD登録選手、パーティーなど限定活動範囲の会員の扱い

(3) 今後のAリーグ部のありかたの検討

## 4. その他、通常業務組織では対応しにくい課題の検討

## 5. ダンススポーツトレーニングセンター(DTC)の運用

過去3年間のレビューを行い、それに基づいて今後の方針案を策定する。

主な強化策として、DMA(ダンススポーツ・モーション・アナリシス)システムの実用化、その他ビデオシステムの活用など特徴あるトレーニングセンターの確立、及びアジアインドア、東アジア大会をめざして外人コーチの招聘による選手強化部のトレーニング活発化をサポートする。

また、損益改善のため、他団体への貸出しを積極的に行う。

### (1) トレーニングセンター・研修センター事業

①DTC設立の主目的である選手強化事業

②指導員研修会、講習会

③ジュニア育成関連研修会

④新審判関連研修会

⑤その他、専門部による研修会等

⑥DMA、ビデオ撮影の積極導入

### (2) グループレッスン、カップルレッスン

①現在週に2回(水、金)行っているグループレッスンの参加人数を増やす。

②ラテンのカップルレッスン、団体レッスンを開始する。(下期9月より)

③ダンススポーツに限らず、グループレッスン主催希望者を公募する。

### (3) 外部貸出

①加盟団体、加盟サークルへの貸し出し。

②他団体への貸出しを積極的に行う。

### (4) 施設維持

①フロアメンテナンス(毎月のワックスがけ)、及び抜本的なフロアコンディション改善

②音楽CD購入

## 組織委員会

ブロックおよび加盟団体の運営ならび組織化の支援を行うとともに、公益社団法人傘下団体としての役割責任についての指導・支援を行う。

- (1) 加盟団体活動に対する関すること。
- (2) 加盟団体規程ならびにJDSF定款等に関すること。
- (3) ブロック機能と役割ならびに改善
- (4) 北海道暫定ブロック運営委員会の運営管理
- (5) 組織統合に関する調整
- (6) 加盟団体の監査ならびに適正化

## ブロック運営委員会

### 1. 東北ブロック

- (1) 運営委員会の開催3回（4月・10月・2月）
- (2) ブロック選手権の主催
  - 2013 前期ダンススポーツ東北ブロック選手権 in 山形(4/28)
  - 2013 後期ダンススポーツ東北ブロック選手権 in 岩手(11/3)
- (3) グランプリの主管
  - 2013 ダンススポーツグランプリ in 仙台(9/15)

### 2. 関東甲信越ブロック

- (1) 関東甲信越ブロック運営委員会および拡大運営委員会を通じ、1都9県の連盟事業運営の円滑化を図る。
- (2) 関東甲信越ブロック選手権を開催する。

### 3. 中部ブロック

- (1) 中部ブロック主催又は主管の競技会開催は次の通り
  - 1) 4月7日 津島市文化会館 中部ブロック選手権 開催
  - 2) 7月28日 静岡市グランシップ ダンススポーツグランプリin静岡
  - 3) 10月21日又は11月11日 富山市 後期中部ブロック選手権
  - 4) 平成25年2月10日予定 名古屋市公会堂 全日本選手権10ダンス 開催
- (2) 指導員講習会、研修会の開催
- (3) 競技資格者研修会の開催

### 4. 西部ブロック

- (1) 西部ブロック運営委員会
  - 年6回開催(奇数月)
    - 1) 12府県の運営円滑化及びサポート、
    - 2) 未加盟(鳥取・高知)県の加盟促進と援助

- 3)ブロック内、競技日程調整
  - 4)各府県 活動報告 および 連絡と意見交換
  - 5)各プロ団体との意見交換会開催（不定期）
- (2)西部ブロック主催(主管競技会)
- 1)4月14日 グランプリ大阪 ブロック主管
  - 2)7月21日 西部ブロック戦 ブロック主催 大阪府 DSF 主管(25年度)
- (3)指導員研修会・講習会年11回開催予定（12府県）
- 1) 新規指導員講習会 随時
  - 2) B 級指導員昇級講習会
- (4)競技資格者研修・講習会
- 1) 公認競技長講習会（新規・更新）
  - 2) 競技会支援システム運用資格者講習会

## 5. 九州ブロック

- (1)運営委員会の開催4回（5月・7月・10月・12月）
- (2)九州ブロック選手権の主催(9月 in 大分)
- (3)グランプリ in 九州の主管(5月 in 熊本)

## 会員拡大委員会

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟の加盟団体である各都道府県連盟には、各種情報を末端に伝えることが望まれる。そのため各地域においての会議のありかた、効果的な情報伝達方法について提言し、その推進を図る。また、ダンススポーツの普及活動の促進と地域社会への貢献策について、情報の提供と助言を行う。

- (1)全国都道府県連盟の活動の把握と情報の交換を更に密にする。
- (2)ダンススポーツの普及と会員拡大を図るための普及競技会の開催に一層努力する。
- (3)ダンススポーツの普及を図るため全国都道府県連盟の情報を提供し各種イベントの実施推進を図る。
- (4)全国各都道府県連盟のイベント情報の収集を強化し、JDSFホームページ、イベントコーナーへの情報とDDD普及欄への記事提供。
- (5)会員拡大委員会の開催

## ヘルスプロモーション委員会

ヘルスプロモーション委員会の設置目的

ダンススポーツ人口減少抑止策の一つとして、会員以外へのダンススポーツ普及のための抜本的戦略の構築と展開が必要となっていることから、主に中高年

層の国民を対象としたダンススポーツ導入プログラムの開発と全国的な普及展開を図り、国民のダンススポーツに対する理解と認識を高め、もってダンススポーツ愛好者の増加を促進する。

具体的には

- (1) 健康増進プログラムの開発と展開
- (2) トレーニング・プログラムの研究開発
- (3) (仮)ダンス検定制度創設に向けた研究開発

#### 学校教育検討委員会

中学校においてダンススポーツ、ダンスうんどうなどが授業に取り入れられるための施策を検討する。

- (1) 実地に学校でダンススポーツ指導を行う指導員への支援
- (2) 学校の先生などに対してダンススポーツ講習、研修会を実施した指導員への支援
- (3) 体験学習への支援
- (4) 学校より要請があった時に対応出来る指導員の人材育成を行う。
- (5) 教材の提供

#### アンチ・ドーピング委員会

以下の事業を実施する。

- (1) ドーピング検査の実施
- (2) アンチ・ドーピング啓発教育
  - ・ トップ選手のアンチ・ドーピング啓発
  - ・ ジュニア選手の親、コーチへのアンチ・ドーピング啓発

#### 新審判基準委員会

新審判基準委員会は、ダンススポーツの審判の客観化のための活動を行っており、これまで国内全てのグランプリ競技会で新審判方式を実施している。

また、WDSF にも日本発の絶対評価の新審判方式が、多くの試合で採用されているほか、アジア地域での WDSF グランドスラム大会においては日本のシステムならびに運用者を派遣するなど、国際貢献を行っている。

平成 25 年度の重点実施事項は、以下の通りである。

- (1) 24 年度で本格化採用した Technical Element Score のうち審判員が評価する GOE(Grade of Execution＝出来栄え)と呼ぶ評価軸を具体的に採用し減点・加点を行う。実施規程(Rev.2.3)を実施する。
- (2) 各グランプリ大会後に審判員 Review を行い、年に 1 度もしくは 2 度の審判員研修を行い、ばらつきの原因の究明や意見交換をし、客観化を向上させる。

- (3) 近年は、昨年度の関東甲信越ブロックの選手権のように、グランプリ以外の一般競技会での簡易方式(新審判方式 B タイプ)の実施をすることにより、普及を図る。
- (4) 近い将来には、ジュニア大会にも採用するなど、ジュニア選手層の育成にも役立てることを検討し、本年度中にも多方面の組織と調整を図りたい。

## 環境委員会

JOC は、環境専門委員会を設置して環境保全活動に取り組んでいるが、各加盟団体に対して環境活動への取り組みを促している。これを受けて当連盟に環境委員会を設置し、環境保全活動に取り組むこととした。

平成 25 年度の重点実施事項は、以下の通りである。

- (1) JOC/JDSF 環境横断幕の製作と各イベントでの張出し及び JDSF 環境保全チラシの製作と加盟団体への配布
- (2) JDSF 及び加盟団体のイベントでのごみ分別・持帰りの啓発活動
- (3) 事務所・DTC での紙及びコピーの削減、環境保全の啓発活動

## 倫理相談室

社会問題となっている「体罰」「いじめ」などの問題防止に努め、常に健全な組織運営を目指す。特に、全国各地に登録している約 1,000 人のジュニア会員とジュニアサークルのダンススポーツ活動における子供のいじめ防止と、もし起こった場合は「倫理規程」に則り適切な対応を行う。

専用相談電話の開設及び各都道府県連盟へ通知、当連盟ホームページに掲載を行い、問題が起こった時は直ちに委員が集合して、その対応を行う。

もし、重大な事案が発生した場合には、外部の第三者を含めた特別委員会を設置して対応を図る。

## 事務局

### 1. 総務部

- (1) 各種業務規程等の整備
- (2) 就業規則に基づく人事関連運営の適正化
- (3) 加盟団体規約(都道府県連盟規約)適正化の推進
- (4) 会議等の適切な運営・議事録管理
- (5) 加盟団体に対する的確な情報伝達
- (6) 個人情報保護体制の見直し

### 2. 管理部

(1) 公益社団法人としての適正な内部統制の実現

グループウェア導入と電子的ワークフローの実現(電子稟議決裁の検討)

(2) 経理規程等の整備

(3) 予算管理及び経費支出の適正化

- ・各部門責任者による予算執行状況の把握推進
- ・各部門責任者の判断に基づく経費支出への統一
- ・経理処理の適正化、明確化の推進

① 会計単位(公益、収益、法人)区分経理の適正化

② ブロック経理処理方法の統一

## JDSF主催競技会開催予定

H25・4・14	ダンススポーツグランプリ in 大阪(L)	池田市五月山体育館
H25・5・12	ダンススポーツグランプリ in 熊本(S)	合志市総合体育館
H25・7・28	ダンススポーツグランプリ in 静岡(S)	静岡グラシッポ
H25・8・11	第8回オールジャパンジュニア・ダンススポーツカップ	千葉市
H25・8・25	ダンススポーツグランプリ in 北海道(L)	札幌市北海きたえーる
H25・9・15	ダンススポーツグランプリ in 仙台(S)	仙台市青葉体育館
H25・10・5	第33回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権	東京体育館
	三笠宮杯全日本選手権スタンダード	
	三笠宮杯全日本選手権ラテン	
	JOCジュニアオリンピックカップ全日本ダンススポーツ選手権ジュニア	
	全日本ダンススポーツ選手権ジュブナイル	
	全日本ダンススポーツ選手権シニア	
	第10回全国子どもダンスうんどう大会	
H25・10・6	第21回都道府県対抗全国ダンススポーツ大会	東京体育館
H26 (未定)	全日本選手権10ダンス	名古屋市公会堂
H26 (未定)	東京オープン・ダンススポーツ選手権	東京体育館

## 主要国際競技会開催予定

H25・7・4～5	第4回アジアインドア&マーシャルアーツゲームズ	韓国:仁川
H25・7・27～28	第9回ワールドゲームズ	コロンビア:カリ
H25・9・15～21	第1回世界ダンススポーツゲームズ	台湾:高雄
H25・10・7～8	第6回東アジア競技大会	中国:天津